

令和5年1月4日

チーム関係者 様

大会参加における注意事項について(ご連絡)

抽選会時に新人大会の運営に関して協議を行いました。新型コロナウイルスの感染状況や時世を鑑み、HP掲載中の要項から内容を変更したところがございますのでご確認下さい。

1. 部員の入館や大会2・3日目の保護者入館人数について(要項8-(3)-①)

使用体育館の入館上限人数の関係で、入館人数を制限しながら大会を実施させていただきます。大会1日目については、すでにご案内した通り全試合1チームにつき14名までとします。大会2・3日目は応援保護者の人数を1チーム20名までとします。観覧については、試合ごとの入れ替えを行います。大会2・3日目に試合が連続する場合の入退館は、会場内役員の誘導に従って下さい。また、入館者一覧(様式6=大会初日分、様式7=大会2・3日分 それぞれHPからダウンロードして下さい)は顧問を通して本部にご提出下さい。大会期間中、ベンチ入りする選手以外の部員は1・2年生のみとし、3年生部員はベンチ入りするマネージャーと補員2名までとします。(観覧席上限人数の関係からです。どうぞご理解いただきますようお願いいたします。)

2. ベンチメンバーや観覧席での応援の仕方について(要項8-(3)-⑧)

今までは拍手のみとしてきましたが、声出しを可とします。春高予選から試合の進行を妨げない範囲での鳴り物(打楽器系)も可としています。マスク着用は引き続きお願いいたします。

3. 準備する試合球の数とボールリトリバー実施方法の一部変更について(要項11-(4))

大会1日目、チームの準備する試合球を1球とします。従来実施してきた3ボール(1球は予備)から1球ずつ減らして2ボールで実施します。試合に必要なボールを最小限に止め効率よく回すためです。大会2・3日目の試合球は本部で準備いたします。

ボールリトリバーの実施方法については、維新大晃アリーナメイン4面とソルトアリーナ防府サブアリーナ2面が試合会場になっているチームは、従来の主審後方でボールリトリバーが任務を遂行するためのスペースが十分確保できない状況にありますので、記録席のところ(記録員の横)にボールリトリバーを1名配置(記録席の横に座席を準備して着席のまま)して実施します。維新大晃アリーナレクチャー(2面)とソルトアリーナ防府メイン(3面)は、主審後方で2名2ボールの実施とします。